



三次中央会報

ロータリークラブ

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/ 広島県三次市十日市東1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrs.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長/ 石田光雄
幹事/ 大井睦子

- 本日のプログラム ゲスト講演 三次市社会福祉協議会
地域福祉課長 鹿本武治様 広報委員会担当
- 次回例会日時 2020年10月26日 12:30~13:30
- クラブフォーラム 2020年10月26日 13:40~14:30
- 次回プログラム ガバナー公式訪問

■第1309回例会記録

- 日時.....2020年10月12日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介
三次地方森林組合 参事 貞廣和則様

●2020~21年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは世界の扉を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン
出会いの扉を開き、新しい仲間と
ロータリーをとことん楽しもう

■開会挨拶.....石田会長

「伐採したら植える」制度

皆さん こんにちは

ゲストの三次森林組合の貞廣和則参事様 ようこそおいで下さいました。後ほどご講演よろしくお願いたします。ロータリーの雰囲気を感じていただき、ご縁を持つことができたらと思います。

さて林野庁の発表によりますと、日本の国土に対する森林率は67%だそうです。この割合は150年変化していません。でも世界をみると過去25年で3.1%森林が減ったそうです。日本での森林率に変化がないのは、「森林を伐採した分だけ苗木を植える」という法律・制度があるからだそうです。我々は普段、山に木があるのは当然だと思っていますが、各地方の森林組合さんが中心となって計画されておられるからだだと思います。日々のお仕事に頭の下がる思いがし、感謝いたします。

今朝テレビで紹介がありました。コロナの影響でキャンプが人気を集めているそうです。それが高じてマイ山キャンプを始める人が現れだしたそうです。山ごと買うのです。場所・広さは覚え

てませんが、ひと山10万~50万だそうです。どなたかお求めになってキャンプに誘って下さい。

先週松茸の話をしたら、もう庄原で松茸が採れたと新聞に載って

いました。19本で75,000円、初売りご祝儀もありますが、野村会員いかがでしょうか？今年はこの時期雨が多くて朝の冷え込みも早く、豊作かもしれません、楽しみにしております。

さて重信さん、どうですか？ロータリーなれましたか？「もうすこし？」いいですね！頑張りましょう。先週重信さんを新入会員としてお迎えした訳ですが、後ほど大井幹事から報告がありますが、重信さんに続いて新入会員を迎えられそうです。いい流れです。この流れを絶やさないよう会員増強頑張りましょう。以上で会長挨拶を終わります。



■幹事報告.....大井幹事

- 奥田元宋・小由女美術館より、熊谷守一展のご案内が来ております。回覧します。
- 新会員の推薦があがっております。異議のある方は一週間以内に幹事まで文書でお申し出ください。
- 米山奨学会寄付のお願いを配布しております。ご協力いただける方はよろしくお願いいたします。

■出席報告.....

- 第1307回 9月28日

会員数	38名	Make-up	2名
欠席	12名	出席合計	28名
欠席者のうち欠席免除	3名	出席率	80.00%

- Make-up... 中島諭君、中島清貴君
- 第1309回 本日の出席は39名中31名です。

■SAA.....中島清祐 SAA

- 会員誕生日...上田君



- 会員ニコニコBOXご出宝

- 上田君 10/10誕生日でした。本日は、可愛い妻の誕生日です。伏叩
- 箕田君 本日担当例会です。貞廣参事様をお迎えして。伏叩
- 中島諭君 クラブフォーラムよろしくお願ひします。
- 石田君 貞廣様、ようこそ起こしくございました。よろしくお願ひ致します。

「ゲストに貞廣様をお迎えして。よろしくお願ひします。」

元廣君、酒井君、瀧本君、平田君、宗平君、和田君

ニコニコBOX本日出宝額 21,000円



本日はカレーの日

体温測定と手の消毒お願いします



クラブフォーラム開催

例会終了後、クラブフォーラムが開催されました。

10月26日のガバナー公式訪問を踏まえ、流れの確認をしました。

参加者21名

本日は、ゲストに三次地方森林組合参事の貞廣和則様においでいただきました。貞廣参事は、広島センターの森林行政にも携わられるたいへん優秀な方です。酒河小学校の子どもたちにも森林の事について色々教えていただいています。今年は空気がきれいで紅葉が楽しみなのですが、ナラ材にナラ枯病の現象が出て来ています。それでは、三次の森林、森林組合の仕事、山の課題などについてお話しさせていただきたいと思います。

箕田英紀プログラム委員

三次市の森林と 森林組合の仕事

三次地方森林組合 参事 貞廣和則



ただいまご紹介いただきました貞廣です。お招きいただき、大変ありがとうございます。

本日は、お手元の資料にありますように、「三次市の森林と森林組合の仕事」というお話をしていきたいと思います。

【三次市の森林】

三次市の森林率は約75%です。(全国的には65%) 約2/3が森林という事になります。

森林の種類は、スギ、ヒノキ、マツなどを植えた人工林が30%です。一番多いのはヒノキですが、北部にはスギが多いです。炭焼きなどをしてきた影響かと思います。

天然林はほとんどがアカマツと広葉樹です。アカマツに関しては、健全なアカマツが少なくなっているという状況です。

三次市内で人工林率の高いところは、布野・君田・作木で、森林のはほぼ半分が人工林です。これらの地区は古くから林業が盛んに行われているところです。

森林は手入れがされていないと細くて弱い木が増えてしまいます。すると土砂崩れなどが起こりやすく、災害に弱い山となってしまいます。常に山に入り、手入れをし、バランスのとれた状態を保つことが重要ですが、なかなか国産材の自給率が高まらないというのが現状です。

【森林組合の仕事】

森林組合の仕事についてお話しします。

まず、依頼を受けて伐採をします。伐採の後、木を植えます。その後、5年間くらいは毎年夏に草刈りをします。

10年くらい経つと、他の広葉樹が生えてきて、スギ、ヒノキの成長を邪魔するので、広葉樹な

どの除伐をします。その後は枝打ちを行います。近年は木を壁の中に入れてしまったり集材を使ったりしますので、枝打ちの作業はほとんど行われなくなりました。

しかし、間伐作業は行われます。間伐材を搬出するために、作業道を森林に作る必要があります。近年では高性能林業機械を使って三次管内の森林を守っております。

【課題】

伐採されて木がない状態の山を見かけると思います。問題になってはいますが、個人のもので、なかなか制限をかけられません。伐採したら植林してくださいとお願いしたりアドバイスしたりしますが、バイオマス発電が盛んになってきており、県外からもいろいろな業者が入り込んできているという状況です。

松食い虫と一般に言われますが、これは、マツノザイセンチュウという小さな線虫とその線虫を運ぶマツノマダラカミキリによって、1~2ヶ月で松全体が真っ赤に枯れる伝染病です。

シカによる被害もすごく増えています。苗木や若い芽を食べる、木の根元で角研ぎをして、枯らしてしまう等です。どうにか鹿を駆除する方法はないものかと考えておりますが、対応ができていない状況です。

最後に、近年問題になっているナラ枯病についてお話しします。ナラ枯病は、カシノナガキクイムシという虫が「ナラ菌」という病原菌を木の

中に運び込むことによって引き起こされる樹木の伝染病です。夏に葉っぱが急に赤くなり、木が枯れてしまいます。今後はおそらく、もっと増えていくのではないかとされています。

対策としては、伐採して燃やすくらいしか対策はありませんが、費用がかかるので、みなさんやりません。

このように森林の現況はなかなか厳しいもの

です。さらに近年では人口減少に伴い、山の持ち主がわからない、または音信不通で山の境がわからないということで、何もできない→放置→山が荒れるという事になってしまいます。皆様方も早めに登記を切り替えていただくとか、山について関心を持って、地域の森林を見ていただければなあと思います。

本日はありがとうございました。

■謝辞.....石田会長
■点鐘.....石田会長

会員ひろい話 vol.9 「まつり」

村祭り……いい響きです。秋空のもと神社の織がはためく様が目につかびます。と、いうことで栗本会員と、井上幸三会員に秋祭りの思い出のインタビューを試みました。

■栗本会員

うん？秋祭り？思いで？？ナイ！ えっ！ない！！

僕にとって祭りと言ったら夏祭り。きんさい祭り！（納得！三次太鼓のリーダーだったんですものね。）

三次太鼓で初めてリーダーをして提灯を持ったのが第29回みよしきんさい祭りだった。ちょうど台風が来ていて、決行するか、延期するかの話合いがあった。次の日の方がもっとヒドい事になるという読みで、その日の朝決行に決定。ところがやっぱり雨になった。手に持った提灯が雨にぬれてパラパラうがれて落ちて来た。この時この提灯が紙で出来ているという事を初めて知った！天野会長は何一つ口には出さなかったが苦虫をつぶしたようなその顔は……。その時以来提灯はビニール製へと変わった。作るのに50,000円（税別）かかったという事だ。

■井上幸三会員

秋祭りの思いで？ない！ えっ！なんでないん！？三次町の本通でしょ！

またもや、思い出のないインタビューになりました。

よその町内の神輿はたくさん出て、多分20台位かなあ本通を過ぎて行ったけど、本通には神輿はなかった。威勢のいい神輿は店の中まで入り込んで、店のひさしが壊れたりした。そんな神輿の行列を店の前にちょこんと座ってみていただけ。姉とは9才離れていたし、近所にも一緒に遊ぶ仲間もいなかった。だからひとり。秋祭りの賑やかで楽しかったという思い出はナイ。ただ、4年生の時、祭りの日に祖父が亡くなった。当時のお祭りの夜は親戚なんかも来てごちそうを食べていたけど、その年の祭りは、そのごちそうが精進料理にかわった。そのことだけは、やけにはっきり憶えている。

親になり、子どもが祭りに参加するようになって、初めて自分も祭りに参加した。でも、店があるので祭りの法被を着たり脱いだり、店と祭りを行ったり来たり。未だに祭りを一日中楽しんだ事はない。

